

# ファーターリティサポート

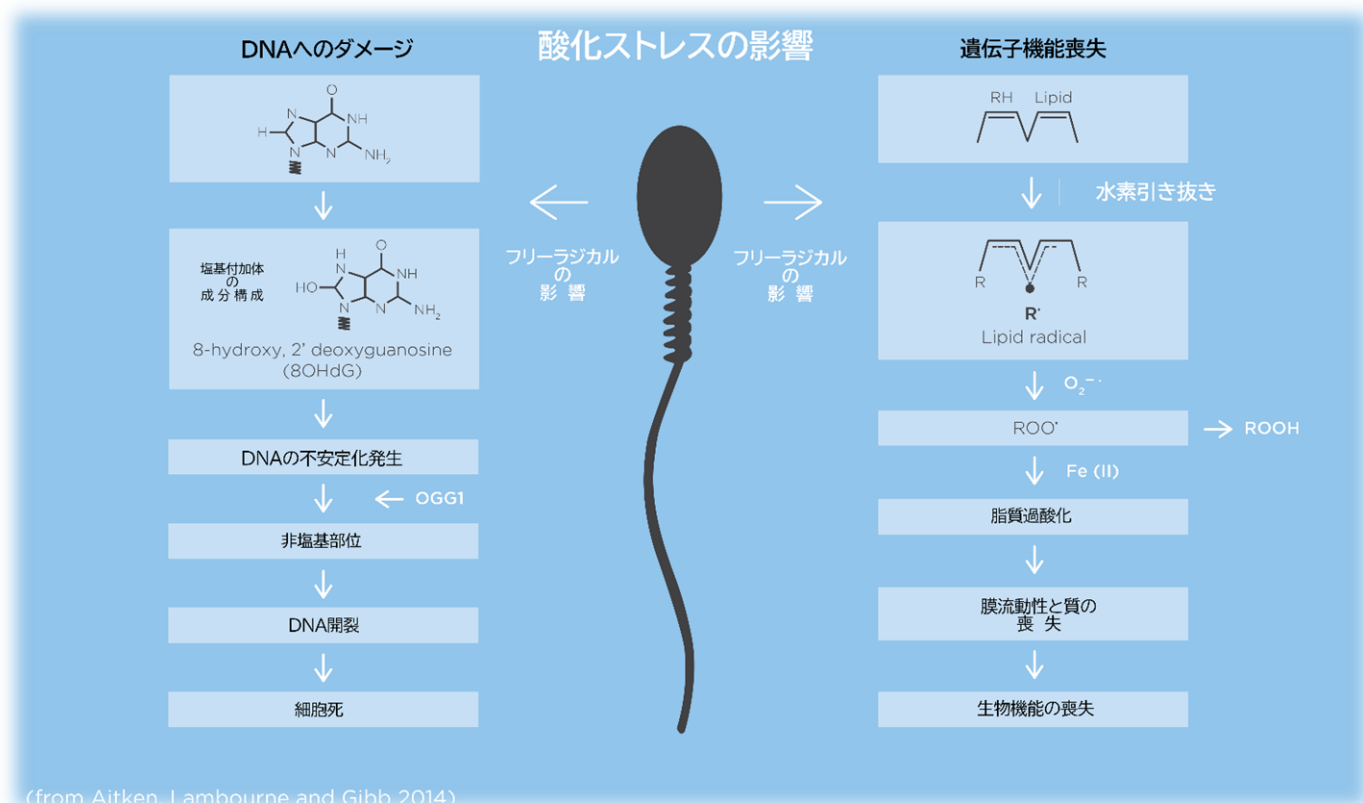
## 還元型コエンザイム Q10 / ユビキノール

酸化ストレスは、ヒドロキシルラジカル、スーパーオキシドアニオン等のフリーラジカルおよび過酸化水素を含む活性酸素(ROS)が、体内細胞の抗酸化防御系の許容を超えたときに生じます。

牡馬の生殖器官における活性酸素の産生と抗酸化物質除去系との間には「酸化ストレス状態」と呼ばれるバランスが存在し、酸化ストレスは種付けによる負荷に比例して発生し、それは生殖能力の低下にもつながります。高い活性酸素レベルは配偶子に有害で、脂質過酸化やタンパク質損傷及び DNA の損傷がおこり配偶子の機能を損なう可能性があります。

精子は酸化による損傷の影響を受けやすい細胞で、活性酸素と雄生殖器官の抗酸化物質排除機能による不均衡が原因の酸化ストレスに対して特に脆弱です。その原因として、不飽和脂肪酸の量の多さ、細胞内の抗酸化酵素の少なさ、DNA 修復機能が働いていない等が挙げられます。

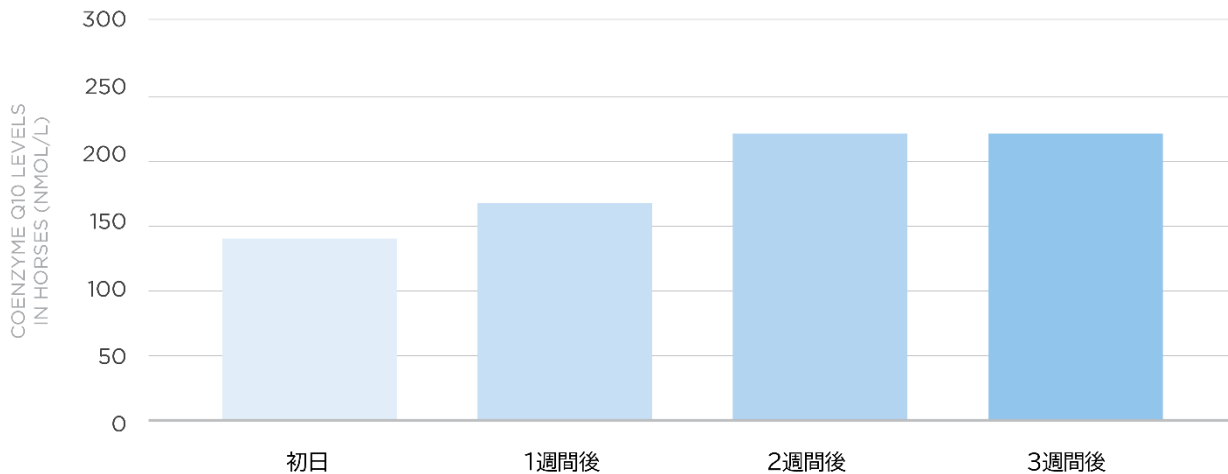
脂質過酸化による精子膜の損傷は、精子の運動機能を低下させ、卵母細胞と融合する精子細胞の能力も低下させ、さらに精子 DNA にも損傷を与え、胚への父系ゲノムの寄与を損ないます。



精子の保護は、ミトコンドリア呼吸鎖で行っており、最適に機能するための精子細胞が必要とするエネルギー合成に必須の還元型コエンザイム Q10 が活性酸素の除去を行います。また、細胞膜トリポ蛋白質の保護のため、脂質溶解の連鎖を断ち切る抗酸化剤としての働きもあります。

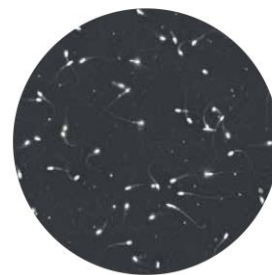
コエンザイム Q10 の生合成は精巣で行われるため、強力な抗酸化剤であるユビキノールは精子と精漿の中で良い効果を発揮します。

## ユビキノール摂取後のコエンザイム Q10 の量

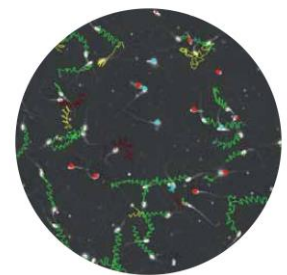


ファータリティサポートは、生物学的に最も効率良く安定したユビキノールを取り込むことができるコエンザイム Q10 で、強力な抗酸化物質でもあることから、繁殖期に備えた種馬の理想的な状態へと導くことができます。コエンザイム Q10 は主にユビキノールとして腸から吸収されるため、ファータリティサポートの循環指数(バイオアベイラビリティ)は他のコエンザイム Q10 の製品と比較しても高レベルです。

抗酸化剤は生物エネルギーの生産と酸化ストレスの管理に必須です。酸化ストレスは、精子に有害な為、牡馬の健全な生きた精子を産生する能力に影響します。更に、コエンザイム Q10 は免疫系の健康維持にも役立ちます。以上のことから、コエンザイム Q10/ユビキノール(ファータリティサポート)の経口補給は、還元型コエンザイム Q10 の濃度を増加させる有効な手段である事が分かります。



通常時



検証時

生物学的利用能の最高値は、少なくとも毎日 3 週間使用することで生まれます。

補給を止めると、コエンザイム Q10 の濃度が徐々に低下します。コエンザイム Q10 は、ウマの精子運動性と受胎率を高め、初期胚死亡率を低下させます。

使用方法:

毎日飼料に混ぜて 15g(1 スクープ)。

繁殖期が始まる 3 週間前から給与し、繁殖期を通して継続することが望ましい。

